

平成 30 年 第 4 回 定 例 会 一 般 質 問 通 告 事 項

<p>9 月 6 日 午 後</p>	<p>前 田 孝 人 議 員 (尾 道 未 来 ク ラ ブ) 質 問 方 式 : 一 括 質 問 方 式</p> <p>1 「日本遺産の町尾道にギャンブル場はいらない」 平谷市長が反対しない理由は何ですか。新高山の場外舟券売り場。 (1) 市長は「議会の動向を見て」との答弁を繰り返しています。 市民ファーストを掲げる行政。尾道市のトップとしての責任放棄であり、無責任極まりないと思うがどうか。 (2) 2 年間もこの問題を放っているという事は、平谷市長は初めから賛成と決めているのではないのか。 (3) 市長ははっきりと「日本遺産の町尾道にギャンブル場はいらない」と反対表明を出すべきだが、それが出せない理由は何か。</p> <p>2 尾道市民病院とみつき総合病院の生き残り策は (1) 平成 3 2 年度までに黒字を目指すとして改革に取り組んでいるが本当に改革が出来ると思っているのか。 (2) 人口 1 4 万人の尾道市。厳しい経営の二つの総合病院を将来にわたり経営していくことが可能と考えているのか。 両病院を統合し、非公務員型の地方独立行政法人(仮称)尾道市病院機構へ移行し、独立採算で運営を図るべきだがどうか。 (3) 尾道市民病院は建替えするとともに、三次救急を担う救急救命センターの設置。救急医療、急性期医療、高度先進医療などを集約し、基幹病院としての役割を担う。 みつき総合病院は回復期から維持期、慢性期の医療を提供し、また回復期リハビリテーションなどを実施し、保健活動、在宅医療、医療後の介護、施設サービスなどに特化する。 以上、両病院の役割、機能を明確にすることにより、継続して医療の質の向上を図り、経営基盤を確立することが出来ると思うがどうか。</p>
--	--